

リンゴ病害虫の発生状況（8月中下旬）

(1) リンゴ斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並でした（図1）。

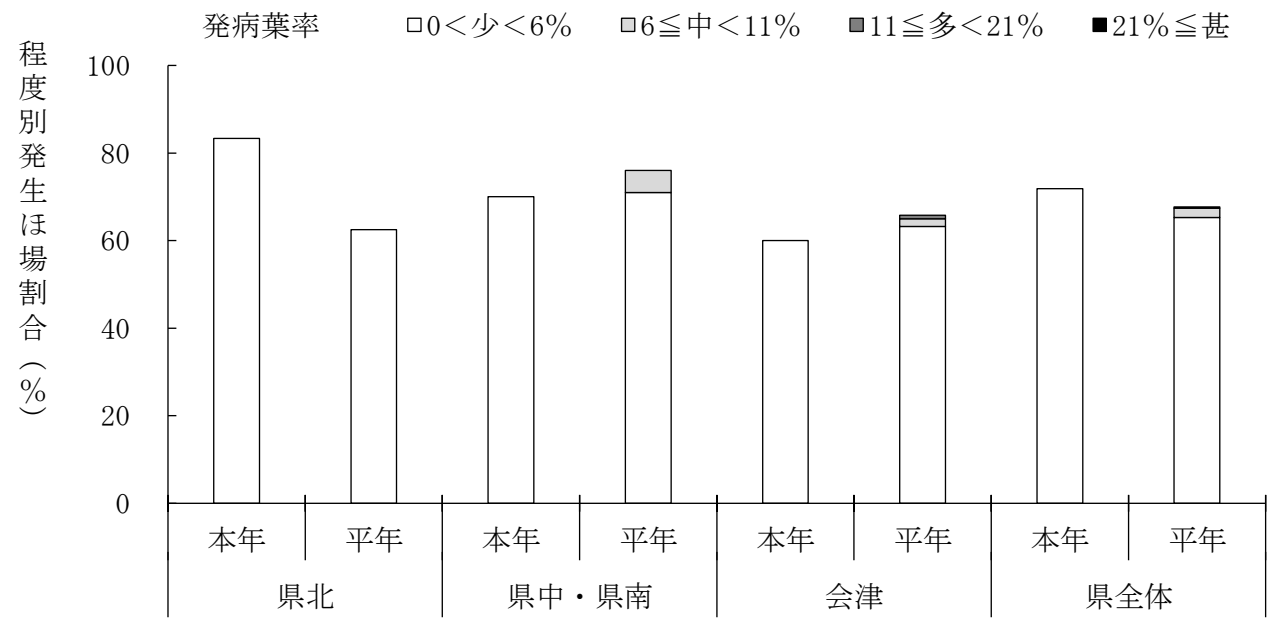


図1 リンゴ斑点落葉病の発生状況

(2) リンゴ褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、県北地方では平年よりやや高い状況でした。県中・県南、会津地方では平年並でした（図2）。

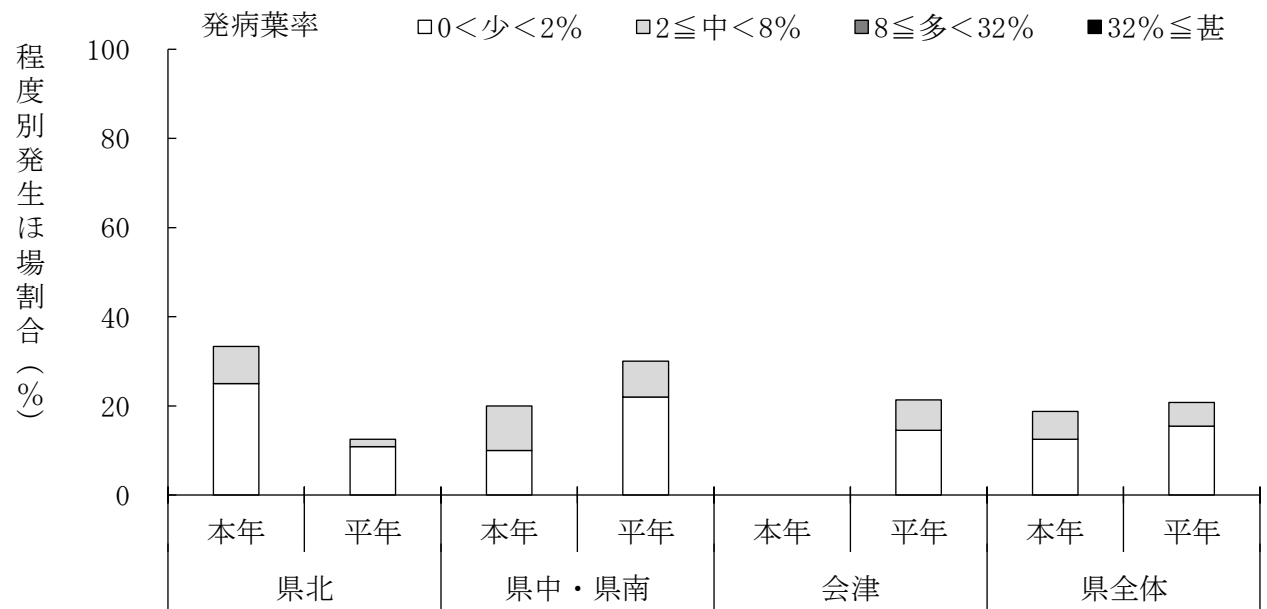


図2 リンゴ褐斑病の発生状況

(3) リンゴ炭疽病

果実被害は確認されず、発生ほ場割合は平年並でした。

(4) キンモンホソガ

新梢葉での被害発生ほ場割合は、平年より高い状況でしたが、いずれのほ場においても少発生でした(図3)。

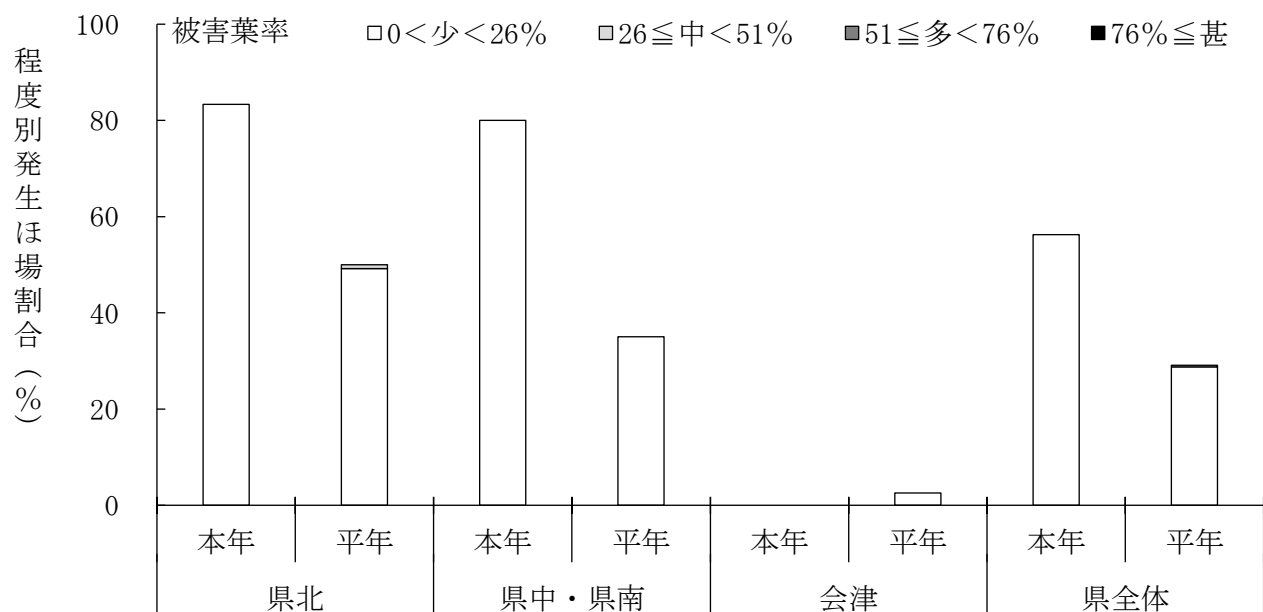


図3 キンモンホソガの発生状況

(5) シンクイムシ類

果実被害の発生ほ場割合は平年並でした。

(6) ハマキムシ類

果実被害は確認されず、発生ほ場割合は平年並でした。

(7) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、県北地方では平年よりやや低い状況でした。県中・県南では平年並でした。会津地方では平年よりやや高い状況でした(図4)。

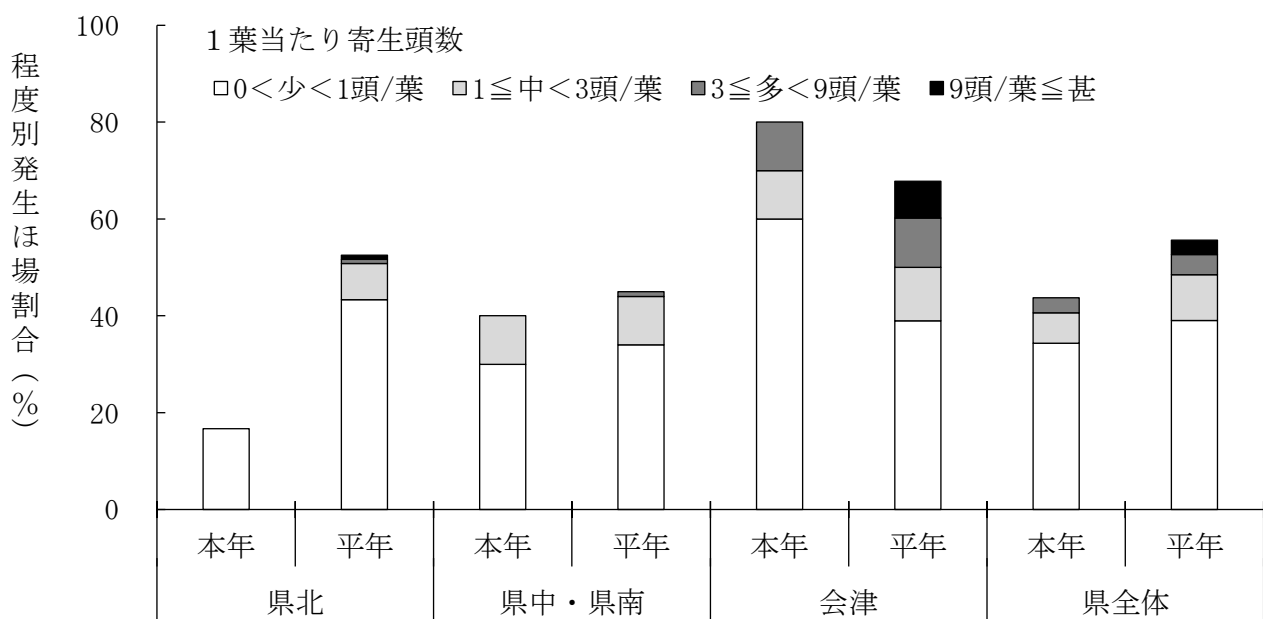


図4 ハダニ類の発生状況

(8) カメムシ類

果実被害発生ほ場割合は、県北、会津地方で平年並でした。県中・県南において平年よりやや高い状況でした（図5）。

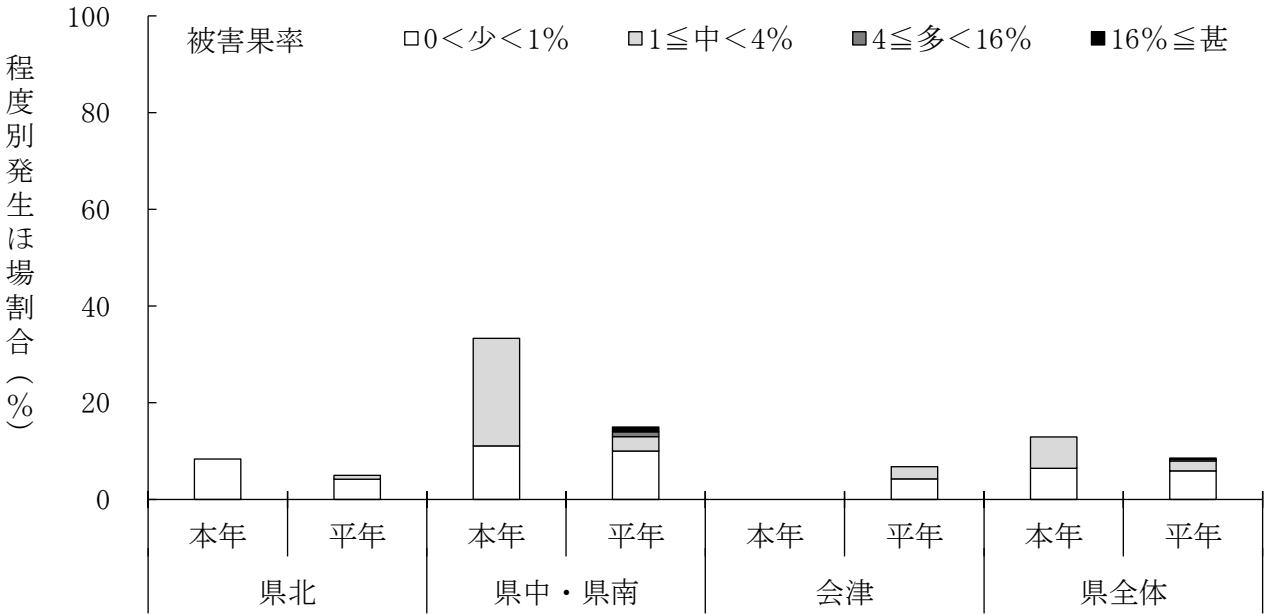


図5 カメムシ類による果実被害の発生状況